

SZS 内部に設置されている点字プリンタやコンピュータの状況など、設備に関するレポート。

2005.4.15 更新

## 点字プリンタ

SZS の点字プリンタは、Angelika さんの部屋に 2 台ある。一台は細かいグラフィック出力に対応したアメリカ [viewplus](#) 社製の Tiger である(上の写真)。もう一台はスウェーデン [IndexBraille](#) 社のテキスト用のプリンターである。テキスト用の方は音がうるさいので彼女がいない時にプリントアウトする、ということであり、双方ともネットワークプリンタとして他の部屋からプリントアウトが可能となっている。訪れた時期は 12 月なので、丁度点字とグラフィックエンボスの混ざったクリスマスカードを Tiger を使って作っていた。Christoff 君はマクロメディアのドローイングソフトを使っていたのだが、フォントを Tiger 用に設定したものを送り込むと、ワードファイルでも何でも受け入れるとのことだった。どちらかという立体コピーが主流である技短とは異なり、図は主に(というか全部) Tiger で出しているようだ。

## ライセンス管理など

Michael 氏の部屋に各部屋でどの PC に何がインストールされているのか壁に大きく貼ってある。これはある種デモンストレーションなのかもしれないが、外向けにも内向けにも有効な方法であろう。ただし広い壁が必要ではある。

## 学生用の部屋

SZS は、学内の一角の建物内の 1 フロアにある。フロアは、Vollmar 教授以外の各スタッフに割り当てられた個室 6 つと、ミーティング用のキッチン付の部屋、トイレ 2 つ、そして学生用に作られた部屋から構成されている。この学生用の部屋には PC がいくつか設置され、視覚障害学生はもとより、彼らを支援する Hiwis と呼ばれる晴眼学生も利用し、点訳作業などを行なう。

## 弱視用 PC

拡大読書器が隣に設置されているこの PC は、液晶の奥(裏側)に別の拡大読書器機構が組み込まれている。これは PC の画面と合成して出すもので、液晶の奥にモーターとベルトで CCD カメラが動く装置が設置されている。写真左側のコントローラーで、CCD カメラの位置やズームを制御する。本を動かすのではなく、カメラをモーターで動かすのである。また、この PC には、ZoomTextLevel2 のバージョン 7 がインストールされていた。

## 点字ディスプレイ付 PC

点字ディスプレイ付の PC は 2 台用意されており、それぞれ 80 桁レベルの大きなディスプレイを備えている。そのうちひとつは、写真にあるようなカーソル移動インタフェースを持っており、使いやすそうだった。親指のかかる位置(ピンディスプレイの手前部分)が 80 桁分全てひとつのスイッチのような感じで、それが上下左右に動く。上下には回転する感じである。手に触れる部分は丸いゴムが 40 個程度並んでついており、滑らないようになっている。

カーソルが動く様子 (833kB):

この PC には、EPSON のスキャナがついており、点訳作業によく Hiwis の学生が使っている。

## COLOR TEST

SZS の設備ではないが、2月1日、Gerhard 氏が個人所有の色識別機「COLOR TEST」を見せてくれた。オーストリア製で、3段階の明るさなど、様々な色をしゃべってくれる。(が、その場で試したところあまり精度はよくなさそうだった)面白いのは、サイコロとか時計とか、アラームとかゲーム(ビンゴのようなもの、と言っていた)が備わっていること。このあたりが日本の製品の学ぶべきところか。

## 携帯電話

またまた SZS の設備ではないが、2月7日、Gerhard 氏が個人所有のノキア端末を見せてくれた。こちらはいわゆるスマートフォンが主流で、OSのインストールなどもユーザが行なうことができる。「スクリーンリーダーをインストールする」といった表現も聞かれる。日本はこの冬(2004年末)に初のスマートフォン端末がVodafoneから出たばかり。早速ウイルス感染のニュースなども聞かれたが、ドイツでは携帯はよりPC寄りな機器である。といいつつ、ネットアクセスはせずにショートメッセージメインの利用ではあるが。

携帯のスクリーンリーダーがしゃべる様子 (540kB):

ちなみにキーエコーは切ってあるとのこと。

## 視覚障害者用 PDA

だんだん Gerhard 氏の持ち物博覧会のようになってきたしまっているが(-\_-;;),写真は Baum のピンディスプレイ(点字ディスプレイ)Vario と 6点入力 PDAPaddy とを組み合わせた様子。右はその接続部分。勿論このピンディスプレイは他の PC とも接続できる汎用的なもので、上に乗っかっている方は独立して音声フィードバックのみの PDA として利用できる。

SZS では、毎週月曜にミーティングを開いているが、Gerhard 氏はこの PDA でメモをとったり話す内容を引き出したりしている。

---

[ [カールスルーエ滞在記 TOP](#)] [[Home](#)]